

■一般選抜 1 期「国語」

【問題一】

問一

漢字の能力を測る出題である。

よみがたと文脈から適切な漢字表記を想起し、正しく記載できるかを問うている。

問二

敬語の能力を測る出題である。

傍線部の語を見て敬語の種類を識別できるか、さらにその機能をふまえ文脈を突き合わせるにより敬意の対象を具体的に特定できるかを問うている。

問三

文章読解、特に複雑な言い回しから著者の主張（強調点）を解釈する能力を測る出題である。

やや高度な問題であるが、虫食いの空欄を埋める形式であるため、周囲の言葉も手がかりとして妥当な解釈にたどり着けるかを問うている。

問四

資料と文章とを関連させながら理解する能力を測る出題である。

資料（ここでは本文中の「問 1」と「表 1」）を正しく読み取り、その理解をふまえて論理的に推論し、文章中の空欄に当てはまる語を特定できるかを問うている。

問五

資料と文章とを関連させながら理解する能力を測る出題である。

資料（ここでは本文中の「図 1」）を正しく読み取り、その理解をふまえて論理的に推論し、文章中の空欄に当てはまる文を特定できるかを問うている。

問六

(一)

資料と文章とを関連させながら理解する能力を測る出題である。

資料（ここでは「問 2」と「図 2」）を正しく読み取り、かつ(二)の出題文も手がかりとすることにより、正答にたどり着けるかを問うている。

なお、知識があれば「問 2」の文章だけを読んで正答を選べるが、その場合でも「図 2」や(二)と突き合わせるにより、自身の解答の妥当性確認ができる。

(二)

資料と文章とを関連させながら理解する能力を測る出題である。

資料（ここでは「問 2」と「図 2」と(二)の出題文）を正しく読み取り、中学生の誤答の要因を論理的に推論できるかを問うている。

やや高度な問題であるが、出題文中の指示に加え、虫食いの空欄を埋める形式であるため、周囲の言葉も手がかりとして妥当な解釈にたどり着けるかを問うている。

【問題二】

問一

漢字の読みと書き取りの知識を問う問題である。

「ショウサ」「籠絡」「箴言」は少し難易度が高い。

問二

語意を問う選択問題である。

普段あまり触れることのない、少々難易度の高い語であるが、前後の文脈から判断できる。

問三

過去の事実を振り返り、具体的な時事問題と関連させながら本文が読解できているかを問う問題である。

問四

文章読解力を問う問題である。

言葉をたよりに筆者の真意を読み取る力を問うている。

問五

世事やニュースを、日常生活の中で問題意識を持って主体的に捉えているかを問う問題である。

問六

筆者の目に映った実生活の中の具体的事例を想起し、受験生自身が実際に経験した事実と照らし合わせて、その状況を本文に沿って、自分の言葉で、決められた字数の中で、端的に表現できるかを問う問題である。

問七

内容把握ができているかを問う問題である。本文全体の流れの中で、筆者の心境の変化を段落に沿って読み取ることができるかを問うている。

問八

内容把握の力、特に全体と部分（段落）を連携させながら、筆者の心情を読み取ることができるかを問う問題である。

選択肢の文言を丁寧にたどりながら、本文と照らし合わせて検討することが求められる問である。

【問題三】

問一

漢字の字画を意識しつつ、正しい書き順でかけるかを問う問題である。

ワープロの普及により、正確な文字が書けず、正しい書き順ができない受験生が多い。

漢字検定 5 級レベルの問題である。

問二

同訓異字の問題である。

単漢字の訓読みは語句（熟語・漢語等）理解の上で重要な事項である。

漢字検定 4 級から 5 級レベルの問題である。

■一般選抜 2 期「国語」

【問題一】

問一

漢字の能力を測る出題である。

よみがたと文脈から適切な漢字表記を想起し、正しく記載できるかを問うている。

問二

文章読解の能力を測る出題である。

文章全体の概要を捉えることにより主題を把握し、それを表すタイトルを選択できるかを問うている。

問三

文章読解、特に細部まで理解できる能力を測る出題である。

文章の主題の把握に基づき、文脈を詳細にふまえ、空欄から離れた箇所にある、空欄に当てはまる語を特定できるかを問うている。

問四

文章読解、特に高度な内容を理解できる能力を測る出題である。

文中に直接的には示されないが著者が前提としている複雑な理屈を、文脈や文中の言葉を手がかりに論理的に推測し、解釈できるかを問うている。

やや難しい問題であるが、虫食いの空欄を埋める語を選択する形式であるため、周囲の言葉も手がかりとして妥当な解釈にたどり着けるかを問うている。

問五

文章読解能力に加え、論理的記述能力を測る出題である。

文中に示されている食糧の事例を、古着の事例に類推的に置き換えることにより書くべき内容を定め、それを第三者に伝わるように、文のねじれ等を避けるなど細部まで整えながら、論理的に記述できるかを問うている。

問六

図を読み取る能力を測る出題である。図（ここでは 3 つのグラフ）の情報を細部まで正しく読み取ることができるかを問うている。

【問題二】

問一

基本的な漢字の読みと書き取りの知識を問う問題である。

問二

文章読解力を問う問題である。

前述の内容を言い換えている表現から、文脈を逆に辿って行き、何を指しているのかを識別し、抜き出すことができるかを問うている。

問三

文章読解力、特に段落構成（各段落の繋がり）を論理的に考えながら、正しく指示内容を把握できるかを問う問題である。

接続表現（「例えば」）に着目し、前後の文言に惑わされることなく、段落構成が理解できているかを問うている。

問四

文章読解力を問う問題である。

出典や題名を参考にしながら、筆者の主張を踏まえ、「そういう」の指示内容を読み取ることができるかを問うている。

前後の内容に惑わされることなく、全体の主張を踏まえつつ一文一文のつながりを考えながら解釈してゆくことが重要である。

問五

抽象的表現から、その具体的事例を表記している部分を探し出すことができるかを問う問題である。

問六

文章読解力を問う問題である。

修辭的表現の意味するものを読み取ることができるかを問うている。

問七

文章読解力を問う問題である。

修辭的表現の内容を理解し、他に言い換えている表現を探し出すことができるかを問うている。

問八

比喩表現についての読解力を問う問題である。

何を喩えているのかを理解し、本文中の他の表現を探し出すことができるかを問うている。

問九

内容把握力を問うている。

全文から、主題とも言える筆者の主張を読み取り、それに該当する部分を探し出すことができるかを問うている。

【問題三】

問一

語彙力を問う問題である。

漢字の意味(訓)と語意の能力が重要である。漢字検定3級から4級レベルの問題である。

問二

同音異義語の問題である。

漢字の偏と訓読みが理解できているかを問うている。漢字検定4から5級レベルの問題である。

■一般選抜 1 期「英語」

【問題Ⅰ】

長文読解問題である。

問 1 ～ 2 語彙力問題

文中に使われている語句の意味を、文の内容を踏まえながら正確につかむ力を問う問題である。

問 3 ～ 5 内容把握問題

文章の内容を正確に理解できているかを問う問題である。

【問題Ⅱ】

会話の内容を読みとり、前後の発言から類推して正しい文を選択する力を問う問題である。

【問題Ⅲ】

短い会話文を完成させることで、簡単な会話のやり取りをする力を問う問題である。

【問題Ⅳ】

基本的な文法事項および語法、イディオムなどの理解度を問う問題である。

【問題Ⅴ】

基本的な英語構文を含む整序問題で英文を構成する力を問う問題である。

■一般選抜 2 期「英語」

【問題Ⅰ】

成人式の持つ意義について論じた英文で、文体は標準レベル、語彙も平易な問題である。

問 1 パラグラフの構成を問う問題である。

問 2 関係代名詞 what の基本的用法を問う問題である。

問 3 まとまった量の英文を速読する練習がなされているかを問う問題である。

【問題Ⅱ】

短い対話を完成させる問題である。英語に親しむ姿勢を問う問題である。

【問題Ⅲ】

「論理表現」での理解度を問う問題である。

【問題Ⅳ】

比較的長い対話を読み、英文を完成させる問題である。基本的な英語運用力を問う問題である。

【問題Ⅴ】

「英文構成力」を問う問題である。「論理表現」で学ぶ「表現する力」を問う問題である。

■一般選抜1期「数学」

問1

(1)～(4)は式の展開と因数分解の基礎、(5)は三角比の基礎事項、(6)は確率、(7)は平方根、(8)は整数の約数と倍数について、理解度を確認する問題である。

問2

確率の反復試行を問う問題である。

問3

不定方程式の問題で、解答の一つの方法を順追って確認する力を問う問題である。

問4

2次関数のグラフの頂点や並行移動を問う問題である。

問5

データの基本を問う問題である。

問6

三角形の相似を使った図形を問う問題である。

■一般選抜 2 期「数学」

問 1

基礎的な知識に関する問題である。基本事項の理解と正確な計算力を問う問題である。

問 2

集合と命題に関する問題である。必要十分条件の考え方を問う問題である。

問 3

2 次方程式に関する問題である。どのような解を持つかによって文字定数の範囲が変わる基礎的知識を問う問題である。

問 4

確率の分野に関する問題である。基礎的な確率の考え方および条件つき確率の理解がなされ、正確な確率を問う問題である。

問 5

図形と計量分野の三角形への応用に関する問題である。余弦定理を利用して、辺の長さや三角形の面積を問う問題である。

■一般選抜1期「生物」

【問題Ⅰ】

問1

生物の代謝における基礎的な知識を問うている。

問2

ATP についての基礎的な知識と、簡単な計算能力を問うている。

問3

生物の構造についての基礎的な知識を問うている。

問4

遺伝情報の保存についての基礎的な知識を問うている。

【問題Ⅱ】

問1～7

生物学実験においての基礎的な知識を問うている。

問8～9

細胞分裂における基礎的な知識を問うている。

問10

簡単な計算能力を問うている。

【問題Ⅲ】

問1～4

ヒトの恒常性維持に関する基礎的な知識を問うている。

【問題Ⅳ】

問1～3

光合成に関する基礎的な知識を問うている。

問4

陰性植物と陽性植物の違いについての基礎的な知識を問うている。

問5

植生の遷移についての基礎的な知識を問うている。

■一般選抜 2 期「生物」

【問題Ⅰ】

問 1～7

生物を構成する物質と遺伝情報の保存と発現についての基礎的な知識を問うている。

問 8～10

生物の代謝における基礎的な知識を問うている。

【問題Ⅱ】

問 1

生物の構造についての基礎的な知識を問うている。

問 2～4

ヒトの生体防御機構についての基礎的な知識を問うている。

問 5～7

ヒトにおいて、免疫機構が正常に働かない状況で起こる事象についての基礎的な知識を問うている。

【問題Ⅲ】

問 1～2

ヒトの自律神経系についての基礎的な知識を問うている。

問 3～4

ヒトの内分泌系についての基礎的な知識を問うている。

【問題Ⅳ】

問 1～8

環境と植生の関係についての基礎的な知識を問うている。